

宗祖親鸞聖人 御誕生 立教開宗 580th 真宗大谷派(東本願寺)

〈慶讃テーマ〉

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう



2022年10月30日 報恩講・御礼言上

第226号
2022年(令和4年)
12月15日

おびひろ東別院

発行所
真宗大谷派 帯広別院
〒080-0803
北海道帯広市東3条南7丁目7番地
TEL 0155-25-1122
FAX 0155-25-1124
テレホン法話 0155-27-1313

発行者 輪番 田辺 豊
門徒会々長 中村 立美
印刷 アド・プリント
帯広別院ホームページ
<http://obibetu.or.jp/>
真宗大谷派 帯広別院 検索

「報恩講」

輪番 田辺 豊

帯広別院の報恩講が鍵役宣心院殿御参修のもと、教導に大谷大学名誉教授・昭光寺御住職延塚知道先生に御出講いただき、十月二十七日(三十日(御参修は二十九日(三十日)と勤修されました。御参修に合わせて、北海道教務所長、堂衆、教務所員、そして崇敬寺院であります第十七組・第十八組・第十九組の御寺院、楽人として和暢会の皆様の御参勤をいただき勤めさせていただきました。

「分をつくす」という言葉があります。報恩講に向けて仏具のお磨き、内外の掃除、仏華を始めとしてお内陣等の荘厳、そして法要に於いて法を説いて下さる人、式事として法要を取り仕切って下さる人、精一杯の声を出して下さる人、楽を奏でて下さる人、食事を用意して下さる人、接待を受け持つて下さる人、そして報恩講にお参りして下さる人と、皆がそれぞれの分をつくしてこの報恩講をつくりあげて下さいました。その人の中に私もいることができたことに、深い喜びと感動を覚えます。

このように報恩講への関わりは様々ですが、そこに願われていますのは、その関わりを通して一人一人が本願念仏の教えに出会って欲しいということでありましょう。教えを聴聞することを通して、念仏が私のところまで伝えられて来ていたことへの讃嘆と、自身への懺悔があるのだと思います。

自坊は、大正六年十一月に説教場が開設されたことから始まりまし。そして翌月の十二月に報恩講が勤められています。「自分たちの近くでお念仏の教えを聴聞したい。そうでないと念仏の音が薄れてしまふ」と嘆かれ、お寺の誘致に奔走していた入植まもない方々の喜びは、如何ばかりであったことでしょう。

コロナ感染拡大を気にしながらの報恩講勤修であります。次年度に向けて精進して参りたいと思えます。ご門徒の皆様には是非お参り下さるようお願い申し上げます。

合掌



③ 報恩講 御絵伝

② 報恩講 祖師

① 報恩講 中尊

仏華

【樹に聞く、華に聞く】

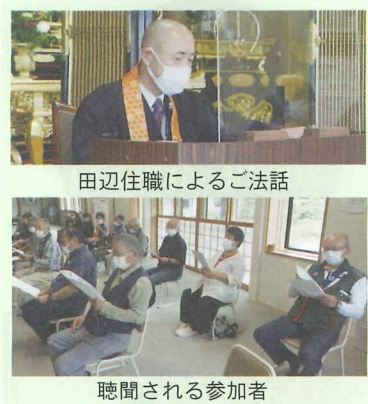
帯広別院で荘厳されている報恩講の仏華を、ここに記載させていただきます。報恩講仏華は、一年間の中で一番重い格で生けております。

華材は、若松、トドマツを用いることで重い格を表現し、ツルウメモドキ・ウメモドキによって華やかなしい慶びを表現しております。また、報恩講仏華を生けるのに重要な木を作成するにあたって、御門徒の松井英成さんから庭の松の木を提供していただきました。

法語

真の知識にあうことは
かたきながかになおかたし
流転輪回のさわなきは
疑情のさわりにしくぞなき

親鸞聖人「高僧和讃」



田辺住職によるご法話



聴聞される参加者

9月1日に3年ぶりに帯広別院推進員総会・日帰り旅行・懇親会がおこなわれました。午前9時より帯広別院にて総会を開催し、バスにて帯広別院田辺輪番が住職を勤められております土幌町下居辺の報恩寺様へ出発しました。到着後、本堂にて田辺輪番のご法話を聴聞し、その後本堂前にて集合写真を撮影しました。

また、一行は、報恩寺様の向かいにある、しほろ温泉プラザ緑風にて懇親会が行われました。参加者は、コロナ禍の感染対策を講じながら、終始美味しい料理とビンゴゲームなどに久しぶりの懇親会を楽しまれておりました。

帯広別院推進員総会・日帰り旅行・懇親会行われる



集合写真



読経の様子



巖城孝明先生の御法話

9月20日から23日まで、秋季彼岸会並びに永代経法要が、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら厳粛に勤められました。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、帯広別院へ仏法興隆のために尊い御浄財としてご志納された方々への記念品贈呈式は再延期とさせていただきます。

2021年4月まで帯広別院輪番を勤められておられました、札幌市専修寺住職の巖城孝明先生にご出講いただきました。巖城先生との再会のため多くの御門徒が御参詣され、懐かしむ声がよせられました。

4日間の法要期間には、平生から参詣される方や、お孫さん連れで家族で参詣される方などもおられ、100名を超える御参詣をいただきました。

秋季彼岸会 永代経法要勤まる



真宗入門講座・帰敬式は、2017年より始まりました一年に一度開催される教化事業であります。今回の講座は、テーマを新たに『一緒に考えてみませんか？私たちが身をおく、真宗門徒について』に変更し2回の連続講座として開催されました。

今回の講座は、13名の方々が、9月3日、10日、日程で講座を受講されました。

講義内容は、「真宗門徒の生活」「お内仏のお給仕」について、輪番と列座が法話を担当し、受講者は熱心に耳をかたむけられていました。

また、「お勤めの練習」の講師を列座が担当し、「帰敬式について」は、DVD鑑賞にて、学びを深めさせていただきました。2回の連続講座によつて参加者はおもたより、職員も「お内仏(仏壇)」を中心とした生活の中で大事にされてきた、「ご本尊に手を合わせお念仏を申すこと」、「お荘厳をお給仕させていただくこと」、「声に出して勤行すること」の意味合いを共に考え確かめさせていただきました。

真宗入門講座開催

帰敬式は、たくさんのお素敵な「仏さまのことば」に合い、生きていく「今」において、仏さまのことばを私の人生の依りどころとして大切に生きていく、その歩みの名告りとして生前に法名をいただく儀式であります。そのような「同朋とも」の誕生を「仏弟子」の誕生とも言っております。

9月25日帰敬式当日、緊張した表情の受式者9名の方へ、田辺輪番より剃刀の儀(おかみそり)が執行されました。法名伝達、記念品授与が行われました。

その後、田辺輪番より、受式者に「本日は、おめでとうございます。法名をいただいた皆様は、お内仏のご本尊の前に、お給仕、勤行、荘厳などの実践生活を益々大切にされ、今後この帯広別院にて真宗門徒として共に仏の教えを聞いてまいりましょう」とお祝いの言葉がありました。

授式者を代表して大亀勉さんより、誓いの言葉が次のように述べられました。「ただいま、ご本尊の御前にて帰敬式を受け、法名をいただきました。仏さまは、真実の教えに出会い、人として生まれたことの大切さに気づくよう、私たちに教えて下さっています。今日からは、これまで南無阿弥陀仏の灯を伝えていただいた、たくさんの方々のご恩を思い、仏の子どもとして、この灯を伝えていきます。」と誓われました。

最後に、授式者と輪番、掛役と記念写真が撮影され、令和4年帰敬式を閉式しました。

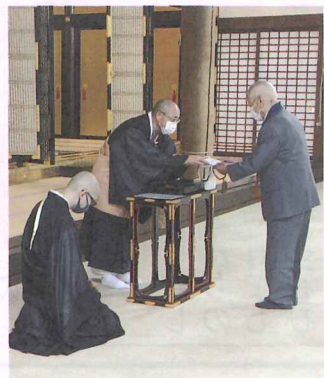
輪番執行のもと 帰敬式開催



帰敬式授式後の記念写真



剃刀の儀



法名伝達・記念品授与



誓いの言葉

帯広別院は市内住宅地にありますが、境内地には、自然の四季を感じられる木々、花壇、プランターの花が植えられています。その境内地の維持管理は、木々、植物、生物といった自然を相手にしているので大変なことです。

帯広別院では、その花植え、草取り、花の水やりなどの作業は門徒会を中心に御門徒の奉仕によって維持管理されています。

そこで、今年度境内地奉仕作業を担っていただいた方々をご紹介します。

大久保豊男さん、大沢ちえ子さん、小野寺寿宏さん、角田勝見さん、角田敏子さん、門繁子さん、菊地由佳さん、葛谷和博さん、栄光さん、佐々木勝己さん、佐々木潔さん、鈴木紀子さん、立松功子さん、田守司敏さん、中村勝美さん、中村立美さん、中村政子さん、松浦澄江さん※(五十音順)に作業をいただきました。

ここに、改めて帯広別院境内地維持管理にご奉仕いただき御礼申し上げます。

門徒会活動報告 帯広別院境内地の維持管理について



境内各所のプランター

除夜の鐘・修正会～新年をお寺でむかえましょう～

一年の初めに荘厳を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年へのぞむ仏事です。参詣者の方が鐘を鳴らすことができます。

【初鐘】

- 日 時： 12月31日(土) 23:45より
- 場 所： 鐘楼堂



【修正会】

- 日 時： 1月1日(日) 0:00より(元旦)
- 場 所： 本堂

※今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、お蕎麦と甘酒の提供を中止とさせていただきます。

帯広別院門徒会主催・婦人会合同 新年間法会並びに新年会のお知らせ

宗祖親鸞聖人御命日をご縁として、帯広別院門徒会主催による新年間法会並びに新年会を開催いたします。今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、会食の場を設けることができないのでお持ち帰りのお弁当をご用意させていただきます。

お誘い合わせの上、皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時： 1月28日(土) 11時 勤行・法話 輪番
- 場 所： 本堂
- 参加費： 1000円
- 主 催： 帯広別院門徒会
- 申込方法： 事務所までご連絡いただくか、お参りの際に列座へお申し付け下さい。

節電へのご協力をお願い

地球温暖化問題、並びに昨今の不安定な世界情勢による燃料価格の高騰を踏まえ、別院においても節電への取り組みを始めています。特に普段は会館納骨堂の照明を落としてありますので、お参りの際には事務所に声がけくださいますよう、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

法座ご案内

【法要(案内)】

- 先門首御命日法要
毎月12日(連夜) 13日(日中)
12日 午後1時
法話 教区定例講師
- 13日 午後1時
法話 輪番 列座

宗祖親鸞聖人御命日法要
毎月27日(連夜) 28日(日中)
午後1時

- 法話 輪番 列座
- ※1月28日(土) 午前11時
法話 輪番

※新年間法会並びに新年会(門徒会・婦人会合同主催)のため

【講座(案内)】

- 婦人会 毎月6日
1月6日(金)

休会

親鸞講座

- 1月24日(火) 午後6時
法話 広尾町 廣縁寺
- 2月3日(火) 午後6時
法話 帯広市 大昭寺
- 2月28日(火) 午後6時
法話 教学研究 難波教行 先生
- 2月28日(火) 午後6時
法話 教学研究 難波教行 先生

おあさじ

毎日 朝6時50分から
どなたでもお参り頂けます。

お知らせとお願い 法務変更並びに休みについて

この度、2023年に御本山にて勤修されます宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要団体参拝に職員研修として参拝させていただくことになっております。

つきましては、誠に勝手ながら

2023年4月23日(日)～4月26日(水)の法務(月忌・祥月・お参り等)

を変更または休みにさせていただきます。

何卒ご理解下さいますようお願い申し上げます。



おびひろひがしyoung children

2学期が終了します…

発表会「どんなことが心に残ったのか」

昨年の今時期より、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、なかなか全員が揃わない中での取り組みでした。その中でも子どもたちの気持ちは、萎えることなく友だちや先生と今できる精一杯の気持ちを持って取り組んでいたと思います。

それと同時に課題がたくさん見えた行事でもありました。

思うところはたくさんありますが、何ができたか・子どもたちの心に何が残り、今後の生活の中に、この取り組みをどのように活かしていくのかが大切なのだ子どもたちの姿から学んだ発表会でもありました。



「目に見える成長、目に見えない成長」

赤ちゃんがつかまり立ちから歩き始めた時、目に見えての成長を感じることでしょう。目に見える成長までには、たくさんの葛藤・挫折を繰り返し、「今度こそ」と心に秘め、心も共に成長していることを感じます。発表会後に「報恩講」に参加しました。

これも新型コロナウイルス感染症により、年長組のみの参加となりましたが、子どもたちの参加をする様子はまさに目に見えない成長を感じる素敵な姿でした。

成長は、個々それぞれ…ひとり一人の内面にも寄り添い、丁寧に関わっていききたいと思います。



(年長)
「アリババと
40人の盗賊」



「3匹のやぎがらがらどん」
(年中)



「さくら！忍者参上！」
(年少)

080-0812 帯広市東12条南6丁目2

学校法人 帯広同朋学園

認定こども園帯広東幼稚園

TEL (0155) 26-1570

FAX (0155) 26-1594

HP <http://www.higashi-kodomo.jp/>

Mail e-child@ec6.technowave.ne.jp